

漆喰の伝統と風景を未来へ

近年、左官職人の減少に伴い、伝統の技や材料を次代へと継承する模索が続いている。そんな中、建築家や芸術家と技能者を繋ぎ、技能の伝承と松崎町のなまこ壁の風景を後世に残すためのワークショップが行われた。建築家・石山修武氏を代表とするA3ワークショップで実行委員会事務局長の(有)ますいいリビングカンパニー代表取締役の増井真也氏にワークショップの概要と建築家と学生と職人を結びつける意義、漆喰の伝統と風景の継承について話を伺いながら、漆喰の未来を考察していく。

(編集部)

インタビュー

適正価格を示し、左官の魅力を建築家に知ってもらう

(有)ますいいリビングカンパニー

代表取締役 増井 真也氏に聞く …… 12

データシート

伝統を未来へつなげ、新たな価値へ昇華する漆喰製品・工法

「本造り 純ねり」「本造り 純黒」／田中石灰工業株式会社 … 18

タナクリーム／田中石灰工業株式会社 …… 19

たなか壁／田中石灰工業株式会社 …… 20

村檜の現代しっくい／村檜石灰工業株式会社 …… 21

製品アンケート

各社代表的な漆喰製品一覧

なまこ壁

22

伊豆半島の伝統的な風景を再現したなまこ壁は、古くから松崎町のシンボルとして親しまれてきた。なまこ壁は、土層を削り出し、その断面を露出させた独特の造り。その美しさから、建築家や芸術家から注目を集めている。本造り純ねり、本造り純黒、タナクリーム、たなか壁、村檜の現代しっくいなど、様々な製品が、伝統を未来へとつなげている。

松崎町